

## はじめに

世界経済フォーラムが2019年12月に発表したジェンダーギャップ指数(GGI)によれば、日本は153カ国中121位という順位となり、前年から11ランク下がるという、残念な結果となりました。この指標は、経済、教育、保健、政治という4分野の総合的な評価によって順位が決まるもので、日本の政治分野における女性議員や女性閣僚の少なさが、この順位に反映されています。この国の男女平等度を上げるためには、政治分野の一層の改善が望まれます。

また2018年に「政治分野における男女共同参画推進法」が議員立法として成立し、女性の政治参加への道筋が今後さらに開かれていくことが期待されています。

『NWEC実践研究第10号』は、この喫緊の課題である「政治分野における男女共同参画」をテーマに取り上げることといたしました。

本号は、10年にわたって刊行してきた『NWEC実践研究』の節目にあたり、国内の政治分野の動向や国際比較、女性政治家のイメージなど幅広いテーマにわたる論文を掲載しています。また、地方議会の女性議員の現状や女性参政権実現の運動の歴史に関しても、具体的に実践の展開として論じました。

地域や職場、その他さまざまな場において意思決定という政治の場に直接、間接的に関わる皆さま方が、女性と政治の問題や現下の政治状況について理解を深めていただくとともに、これからどのような政策が必要なのかを考えるうえに、本書がお役にたつことができれば幸いです。

NWECでは、男女共同参画社会の形成に必須である、意思決定の場に女性の声を届けるという目標に向けて、今後さらに事業の充実を図っていく所存です。引き続き皆様からの温かいご指導をいただけますよう、お願いいたします。

独立行政法人国立女性教育会館 理事長 内海 房子